

## 環境アセスメント学会 生態系研究部会 第29回定例会 報告

■テーマ：日本への生物多様性オフセット導入に向けた生態系の定量評価について

■話題提供者：

・株式会社ポリテック・エイディディ 相澤 郁 氏：

千葉県里山地域における生態系定量評価の試行

・EAI 株式会社 八木 裕人 氏：

球磨川水系荒瀬ダム撤去に関する生態系定量評価の試行

■コーディネータ：大日本コンサルタント株式会社 新井 聖司 氏

■日時：平成 28 年 8 月 23 日（火）18:30～20:00

■場所：東京都市大学 渋谷サテライトクラス

■共催：東京都市大学 環境学部 環境創生学科

■概要：

これまでの生態系研究部会の定例会において、諸外国における生物多様性オフセットの事例や日本への展望など、生物多様性オフセットに関連するテーマで定例会が何度か開催されている。また、近年、生物多様性オフセットは、環境省より「日本の環境影響評価における生物多様性オフセットの実施に向けて（案）（平成 26 年 6 月）」が刊行され、シンポジウム等にて日本への導入に向けた議論がされてきている。

本定例会では、株式会社ポリテック・エイディディの相澤郁氏は、ご自身が所属する（一社）日本環境アセスメント協会自然環境影響評価技法研究会での研究成果について、EAI 株式会社の八木裕人氏は大学時代から行ってきた研究成果についての話題提供を頂き、生物多様性オフセットの日本への導入について議論を行った。

<株式会社ポリテック・エイディディ 相澤郁氏>

相澤氏は、千葉県千葉市の里山生態系を対象に仮想開発事業によるネットロスとオフセット（里山保全事業）によるネットゲインを米国で最も使用されている評価手法である HEP（Habitat Evaluation Procedure）を用いて、定量的に評価し、生物多様性オフセット導入に向けた「生態系定量評価」の可能性と課題を整理したものを報告した。

内容は「①開発と保全のシナリオの想定」、「②評価手法の選定・評価種の選定」、「③開発地及びオフセット地の生態系評価」、「④ネットロス、ネットゲインの比較」の順で報告された。評価種はコゲラ、シロハラ、オオムラサキ、ニホンアカガエルの 4 種が選定され、里山保全事業後の効果量はコゲラ、シロハラはマイナス、オオムラサキ、ニホンアカガエルはプラスになる結果となり、種によって代償が出来る量が異なることや代償できない種があるという結果が紹介された。

試行段階ではあるが、ケーススタディにより里山生態系を評価する手法として、HEP は適用可能性があり、今後も継続的な検討を続けていく必要があるとのことだった。

意見交換では、他の評価手法（ハビタットヘクター）の検討、オフセット地の妥当性、評価種の選定、保全目標は国の政策や生物多様性地域戦略といった制度にあったものに合わせた方が良く、といった意見や質問が出され活発な議論が行われた。

<EAI 株式会社 八木裕人氏>

八木氏は、熊本県球磨川水系に生息するアユの生息地という観点から、評価手法 HEP により荒瀬ダム撤去事業による流域生態系への影響を評価し、ダム撤去における生態系評価手法 HEP の適用可能性と課題を整理したものを報告した。

内容は「①評価種の選定」、「②対象とするダム及び堰の選定」、「③評価する複数案の設定、ターゲットイヤーの設定」、「評価種の HSI モデルの構築」、「④複数案毎の流域生態系の評価」の順で報告された。

複数案は荒瀬ダム、瀬戸石ダム、遥拝堰の撤去およびゲートの開閉を考慮し、設定されており、案 1：すべてのダム・堰のゲートが閉まっている状態、案 2：荒瀬ダムのみゲートが開いている状態、案 3：荒瀬ダム撤去、瀬戸石ダム、遥拝堰のゲートが閉まっている状態、案 4：荒瀬ダム撤去、遥拝堰のゲートが開いている状態、案 5：荒瀬ダム、瀬戸石ダムが撤去、遥拝堰のゲートが開いている状態の計 5 案であり、これらの案について、構築した HSI モデルを用いて評価を行った結果、将来的に案 5 がアユの生息地として良い結果となったと紹介された。

最後に HEP によって、ダム撤去事業による生息地への影響を評価することは可能であるが、さらに複数の種で評価すること、評価の精度を上げることが必要であるとのことだった。

意見交換では、アユの生息地として評価するにあたって、どの環境要因が最も影響が大きいか、複数案の設定するにあたってどのような背景があるのか、アユにとってはベストな案かも知れないが、人間に対してはどうなのか、といった意見や質問が出され活発な議論が行われた。

(レポーター：株式会社総合技術コンサルタント 芦朋也)



相澤郁氏の発表の様子



八木裕人氏の発表の様子



ディスカッションの様子



受付の様子